

日五十九

東坡詩

編輯發行人 関田弘成
印 刷 人 関田弘成
福島縣石城郡平町繪屋町古印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町繪屋町主
發 行 所 石城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料二行四字 諸金五十錢
（日報）祭日休刊

昨夜小火

石城民政幹部會召集

平兒童保護者會總會
本日第二校 一開

年正月
二十六日
開催す

公益土支障あり……として
全會一致反對を決

問題の第二次調査委員會 決議直後に公式發表す 致反對を決議

五·一五事件

65

平青年團總會

結局は柴田園長居据りか

紛糾せ

(別項) 調査委員會の態度は全會
二回とも當局の諮問に對し反對を固守し來たつた平町會はまたも三度反對の態度決定の形勢となり来る町會も大勢既に反對に傾きつゝあり、螢雪會、區長團等必死の反對運動も一段落を告げるものと想はれる。

平青年團總會 興味ある役員改選 結局は柴田團長居据りか

三寶保育園祝兒童大會慶讚來十八日午前去月開園した四倉町本町三寶保育園では来る十八日午前九時から落成開園祝賀の慶讚式並に午後二時から開園記念の兒童大會を開催する事になつた。

▲慶讚式次第

司會者宗川宗滿氏 一、月影二唱一同 二、慶讚法要導師磐城教務所長名木橋秀夫氏三、経過報告園主阿部宗順氏四、挨拶新妻町長、木村前代

場では

▲議士 井村善、
學教館 二唱
▲兒童 司會

式舉行 賀會

三寶保育園祝賀會

來十八日午前九時から

自殺するが
酌婦か家出
平驛で下車したところを
アツサリ捕ま

自殺を決意して、
酌婦の家出、アツサリ捕まる

三春町字荒川町料理店榮屋こと中山清方抱酌婦同郡神侯町生れ關根ナミ(二〇)は前借百餘圓を踏み倒して今十五日未明無斷で家出逃走したが手配によつて同日午前九時平驛着磐越線列車で平驛に下車したところを平署員に取押へられ抱主に引渡された逃走の理由は主人が口喧しく客

て。

▲四倉町土木委員會は昨十四日午前九時より開會、協議案は昭和九年度に於ける救濟事業に就い

病兵で職の無い方は職を與へます。
御來談下さい。
年齢五十才まで
面談は…午前中

●フレッシュな若人向●

ポプリンワイシャツ

● ボブリン、ベンベルク絹、新柄特製品 ●
● 清新的襟付アーテングシャツの秀逸品 ●

本章所用之圖，均系照原圖縮小而成。圖中各點，均以字母標示。

正 中野洋品店

小名濱町長小野晋平氏が抜き打ち的に破産の宣告をされ、一大セーソンを惹き起したが既に事件は申請人債権者田中氏との間に圓満示談が成立して居る事實あり、小野氏は此の宣告を不當として直ちに平町安齋辯護士を代理人として宣告取消しの抗告手續を執つたが債権者との間に妥協示談成立してゐる以上問題なく、宣告は取消されるものと豫想されてゐる。

小野氏の宣告

御見舞御禮

今曉失火の際は早速御駆付消火に御盡力被成下以御蔭大事に不到候段難有御禮申上候
一々拜趨御禮可申上筈の處混雜中御尊名伺
洩れも可有之不取敢以紙上御禮申上度如斯
御座候

各
位
平町 材木町
金成 泉一郎

弘法大師千百年祭
福島縣支部四倉如來寺
牡丹觀覽會團体募集

會期五月二十日(日曜日)
會費金壹圓三拾錢
平十四倉片道汽車賃、料理、壽司折詰、瓶酒付、
摩札

洛家劑庭和尊泉

特徴家浴 剤庭和尊泉

神經痛、リウマチス、關節炎、肩凝り、胃腸病、神經衰弱、激務ノ疲勞、手足筋ノ疼痛、腰ノ痛、打撲傷、婦人病、血ノ道、コシケ、冷へ性、寢小便、胎毒、皮膚病、創傷、痔疾、淋病、疝氣、寸白、凍傷、田虫、水虫、いんきん、しつ、ひせん、あせも、わきが、吹出物、生來虛弱、動脈硬化症、感冒、病後ノ衰弱等に偉効あり。又傳染性諸病の豫防に用ゆ、赤ん坊のうぶ湯に用てよし。

平町四丁目（電話一四四番）
和尊泉製造發賣元 小野屋藥局

平時古銀治時九一
科 神谷齒科醫院

化粧品、理髪器具一式
クリーム、ポマード……ハカリ賣

**吸
入
用
醫
藥
素
純
度
99%**

出前持至急人用
平町二丁目

外 科 性 病 科 X 光 線 科

一般外科 内臓外科

門專院醫科性胃腸病村松
(番七〇一電 町南町平)

產婦人科院長木村寅次郎
外科醫學博士内木宗八
藥局藥劑師玄番彌二
平町新川町十九
木村病院
入院隨意
病室完備